

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-25	高等学校	商業	電子商取引	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 358	電子商取引 新訂版		

1. 編修の基本方針

- (1) コンピュータ関連用語については、初出の時点で解説するようにしている。ただし、ビジネス情報分野の基礎的な位置づけである「情報処理」で取り扱っている用語については、解説していない場合がある。
- (2) 実習に関する部分については、例題を中心に持ち上げて説明するようにした。また、イラストや画面図なども多数用いて理解を助ける工夫をした。
- (3) 重要語句には、出来る限り英字ルビを付けるように配慮した。

2. 対照表

(例)

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 情報通信技術の進歩とビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の知的好奇心に応えられるように、補足的な内容をコラムとして設けた(第1号)。 ・学習する内容が、実社会でどのように役立てられているかを示し、学ぶ知識がビジネスでどのように活用されているのかが理解しやすくなるように配慮した(第2号)。 ・教科書に登場する人物の男女バランス(人数)が偏らないように配慮した(第3号)。 	<p>p. 19</p> <p>p. 10、p. 12～15</p> <p>p. 6～12、 p. 15～17、 p. 19～20</p>
第2章 コンテンツの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・静止画や動画、音楽データのファイル形式には、いろいろな種類があることを示した(第1号)。 ・図形や組織図、グラフの編集では、画面図を多用し、手順を細かく示すことで、主体的に学びやすくなるようにした(第2号)。 ・教科書に登場する人物の男女バランス(人数)が偏らないように配慮した(第3号)。 	<p>p. 23、 p. 26～27、 p. 29</p> <p>p. 30～37</p> <p>p. 23、p. 49</p>

	自然や環境に興味を持てるように、自然に触れる旅行をテーマとした例題を取り上げた（第4号）。	p. 58～65
第3章 ウェブデザインと広告・広報	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の知的好奇心に応えられるように、補足的な内容を「point!」やコラムとして設けた（第1号）。 自学自習ができるよう、ウェブページ制作の各例題は、イメージがしやすい画面展開による解説を中心にした（第2号）。 教科書に登場する人物の男女バランス（人数）が偏らないように配慮した（第3号）。 日本の伝統や文化を尊重するという観点から、フォントの使用例に日本の伝統や文化を表すことばを取り上げた（第5号）。 	<p>p. 72、p. 85、p. 92、p. 99、p. 104、p. 106、p. 112、p. 119、p. 120</p> <p>p. 88～127</p> <p>p. 72、p. 128、p. 130</p> <p>p. 83</p>
第4章 ウェブページの公開	<ul style="list-style-type: none"> 通信ネットワークのプロトコルや、ドメインにはいろいろな種類があることを示した（第1号）。 教科書に登場する人物の男女バランス（人数）が偏らないように配慮した（第3号）。 	<p>p. 138、p. 152</p> <p>p. 137、p. 146、p. 156</p>
第5章 電子商取引とビジネス	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の知的好奇心に応えられるように、補足的な内容を「point!」やコラムとして設けた（第1号）。 職業及び生活との関連を意識させるため、実社会で利用されている電子商取引システムにより近いものを構築・運用できるように配慮した（第2号）。 教科書に登場する人物の男女バランス（人数）が偏らないように配慮した（第3号）。 	<p>p. 160～198、p. 223</p> <p>p. 200～247</p> <p>p. 168、p. 189、p. 192、p. 194、p. 195</p>
見返し	自然や環境に興味を持てるように、自然の写真を画像編集した例を見返しに取り上げた（第4号）。	後見返し
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
<p>国家及び社会の形成者として必要な資質を養えるように、ソフトウェアの操作方法だけに特化せず、情報セキュリティの重要性についても、関連する箇所でも扱った。</p>		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-25	高等学校	商業	電子商取引	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 358	電子商取引 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「電子商取引」が、商業科のビジネス情報分野における応用的な科目であることを鑑み、生徒が興味を持って学習しながら、発展的な内容を無理なく習得できるように、以下の点について配慮した。

(1) 構成・配列は、おおよそ学習指導要領の構成・配列にしたがったが、次の点で編修上の配慮を行った。

・学習指導要領「(2) コンテンツの制作 イ 図形と画像」の内容については、ドロー系ソフトウェアで作成するベクタ形式を「第2章2節 図形」で扱い、ペイント系ソフトウェアで作成するラスタ形式は「第2章3節 静止画」で取り扱うことにした。

・学習指導要領「(3) ウェブデザインと広告・広報 エ ウェブページ制作の応用」の内容について、アンケート調査などに用いる双方向で情報を送受信するウェブページの制作では、タグやソフトウェアを利用して制作する例と、既存のCMSを利用した例の2種類に分けて取り上げた。

(2) 「第2章 コンテンツの制作」では、ドロー系ソフトウェアにMicrosoft社のWordを、ペイント系ソフトウェア(フォトタッチソフトウェア)にAdobe社のPhotoshop、ノンリニア編集ソフトウェアにMicrosoft社のWindowsムービーメーカーを取り上げた。

(3) 「第3章 ウェブデザインと広告・広報」の「3節 ウェブページ制作の基礎」では、利用するウェブページ作成ソフトウェアにIBM社のホームページ・ビルダーと、ワードプロセッサソフトウェアにMicrosoft社のWordを取り上げた。

(4) 「第5章 電子商取引とビジネス」の「4節 電子商取引システムの作成」では、利用するソフトウェアにIBM社のホームページ・ビルダーと、フリーソフトウェアのZen-Cartを取り上げた。

(5) その他のソフトウェアについては、Microsoft社のWindows系OSに標準添付されているものを利用した。

2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1章 情報通信技術の進歩とビジネス	(1) 情報通信技術の進歩とビジネス	p. 6	(4)
1節 ビジネスの変化	ア ビジネスの変化	～	2
2節 情報通信ネットワークの活用と課題	イ 情報通信ネットワークの活用と課題	p. 20	2
2章 コンテンツの制作	(2) コンテンツの制作	p. 22	(18)
1節 ファイルの形式	ア ファイルの形式	～	3
2節 図形			3
3節 静止画	イ 図形と画像	p. 66	3
4節 動画			2
5節 音声	ウ 音声		2
6節 情報の統合	エ 情報の統合		5
3章 ウェブデザインと広告・広報	(3) ウェブデザインと広告・広報	p. 68	(31)
1節 ウェブページ制作までの手順	ア ウェブページ制作の手順	～	2
2節 ウェブデザイン設計	イ デザインの基礎	p. 134	5
3節 ウェブページ制作の基礎	ウ ウェブページ制作の基礎		2
	エ ウェブページ制作の応用		2
4節 ウェブページ制作の応用	エ ウェブページ制作の応用		2

4章 ウェブページの公開	(4) ウェブページの公開	p. 136	(6)
1節 ネットワーク機器の種類と機能	ア ネットワーク機器の種類と機能	～	2
2節 公開の方法	イ ハードウェアとソフトウェアの導入	p. 158	4
5章 電子商取引とビジネス	(5) 電子商取引とビジネス	p. 160	(46)
1節 電子商取引のしくみ	ア 電子商取引の仕組み	～	6
2節 企業間取引と企業対消費者間取引	イ 企業間取引と企業・消費者間取引	p. 248	3
3節 電子決算のしくみと方法	ウ 電子決済の仕組みと方法		3
4節 電子商取引システムの作成	エ 電子商取引システムの作成		34
		計	105